

くまがや

Kumagaya City public relations magazine

VOL.76 2012



いい出会い、いいふれあい、いい未来！

12月11日緑化センターで16か国143人が参加し、国際交流パーティーが開催されました。もちつきや日本の遊びを楽しみ、外国人と日本人が交流と理解を深め、新たな絆が生まれました。

CONTENTS

特集

2 新年のごあいさつ
市長新春対談

7 市政ワイド
くま博士が教える
「平成22年度の行政改革の取組状況」

10 市政情報

15 暮らしの情報

19 スポーツ情報

20 暮らしの相談

21 いきいき元気みんなの健康

24 文化施設情報

28 にゃおざねが行く！
熊谷七福神探訪

30 フォトニュース・市報クイズ

31 放射線量低減化に向けて・
おたよりバレット

32 情熱世代・
2019年にラグビーワールドカップ
が日本にやってくる！



作家 森村 誠一

1933年生まれ。県立熊谷商業高校、青山学院大学文学部英米文学科卒業。ホテル勤めの経験があるため、ホテルを舞台にしたミステリーや山岳を舞台とした作品が多い。推理小説、時代小説、ノンフィクションと作品の幅も広く本市出身者を代表する著名人である。1969年第15回江戸川乱歩賞、1973年第26回日本推理作家協会賞、2011年第45回吉川英治文学賞。

森村…私は、若い頃から俳句を作りたいなと思っていたのですが、なかなか作れないでいて、再挑戦してみたいんです。散歩しながら俳句を作っているページに掲載してみたいんですが、アクセスが全然ありません。こういう創作というのは受け取り手がないと何もないのと同じなんです。読者が居て成立する分野ですから、なんとか読者を増やせないかなと。それで散歩

組んでいらつしやるということですので、そういった執筆活動などについてお話しただきたいと思います。
森村…作家という仕事は、いわゆるゴールがありません。自分の中に作品の卵がある限りは産むべく書き続けていきたいと思っています。私は大学を卒業して就職するまでは熊谷にいましたので、自分の青春は熊谷にある。そういう中で戦災も体験して、終戦の詔勅も我が家の焼け跡で聞いているんですね。それだけに熊谷には自分にとって一種の精神の拠点というものがあるんです。当時の熊谷市民は戦災

から立ち上がってきた戦友のような意識が非常に強かったですね。そういう意味で非常に絆が深い。それから愛郷心というか郷土心というものが強いですね。市民というところが熊谷に居る人が市民なわけですよ。ところが、熊谷を離れているけれども常に郷里に意識がある「不在市民」というのが居ると思うんですね。僕も不在市民の一人です。そういう中で執筆活動が続けていますとどうしても郷里を書くスペースが多くなるんです。書きやすいですね、土地勘があるというのは取材しやすいんです。だから私の作品は

380冊くらいありますが、おそらく5割には熊谷が、なんらかの形で登場してくると思います。熊谷の名前でなければK市というかたちですね。**市長**…自分の体内に卵があり続けるかぎり、これからも書き続けていくんだという力強いお話を聞いて、郷土の先輩として非常に頼もしく思いました。また熊谷市民は戦争と一緒に乗り越えてきた同志だといえるのをうれしく思います。

先生の作品を読んでいると、あ、これは熊谷のことかなという場面が時々出てきますから、そのたびに我々からしますと、安心感というかほつとした感じがします。

写真俳句について

森村…私は、若い頃から俳句を作りたいなと思っていたのですが、なかなか作れないでいて、再挑戦してみたいんです。散歩しながら俳句を作っているページに掲載してみたいんですが、アクセスが全然ありません。こういう創作というのは受け取り手がないと何もないのと同じなんです。読者が居て成立する分野ですから、なんとか読者を増やせないかなと。それで散歩

の途上、俳句になりそうな風物などをカメラで撮ったんです。その写真を添付したらね、アクセスがぐいっぺんに増えてきたんです。
市長…わかるような気がします。**森村**…万葉の時代の相聞歌を携帯電話を使って、はやらせたいなと思っています。恋の歌ですね。携帯のメールで、三気（さんき）なんて、やりとりを現代の若者がやっている。それを相聞歌のように俳句でしただけならいけるんじゃないかと思っています。

新年のごあいさつ

熊谷市長 富岡 清



明けましておめでとうございます。謹んで新春のご喜びを申し上げます。また、昨年は被災地に対する生活物資や義援金を始め、県外からの避難者受入など市民皆様からの心温まるご支援に感謝を申し上げますとともに、被災者・被災地における一日も早い生活再建と復興をご祈念申し上げます。

抑制や市債残高の削減を一端とする行財政改革の取組により、持続可能な財政運営に意を用いてまいりました。今年も限られた財源を最大限に有効活用し、市内全小学校普通教室におけるこの夏からのエアコン稼働に併せ、全中学校もその設置工事に着手するとともに、小・中学校の屋内運動場の建て替えなど、子どもたちの教育環境を引き続き整備してまいります。また、建設中の中央消防署と東小学校区の公民館の複合施設の竣工により、地域の安心安全の確保と生涯学習の充実を図ってまいります。

震災以降「絆」という言葉が多く用いられるようになりました。地域コミュニティには「絆」が何よりも重要との認識のもと、今年も市民皆様との直接対話を原点とし「信頼」「誇り」「笑顔」をキーワードに市政運営に全力を尽くしてまいりますので、これまで以上に市民皆様の市政への参画と二層のお力添えをお願いいたします。新しい年が市民皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

市長新春対談

森村誠一氏と熱く語る

―青春都市熊谷の成長―

はじめに

市長…あけましておめでとうございます。森村先生には大変お忙しいところ、お越しいただきまして、ありがとうございます。

去年は長編時代小説「悪道」で第45回吉川英治文学賞を受賞されました。誠にめでたうございます。先生のご活躍は、市民のみなさんにとって

も大変喜ばしいできごとだったと思います。また、昨年4月に熊谷市親善大使を快くお引き受けいただき、本当にありがとうございます。本市の魅力国内外

に広くPRいただきますようお願いいたします。本日は先生の近況、熊谷の魅力、本市の将来についてお話ししたいです。よろしくお願いいたします。よろしくお祈りいたします。

最近の執筆活動について

市長…連載、単行本の刊行など、第一線で活躍ですが、また写真俳句についても取り





市長…そうですね。クールスカーフという、水に濡らして首に巻くと涼しくなるスカーフがあるんですけど、小学生全員と一人暮らしのお年寄りに配りました。しかし、外来者に対するおもてなしという先生のアイデアのようなものは考えなかったものですから、おもしろいですね。暑いということとはまさに繋がるんだということはまさに我々が一生懸命PRしようと考えているところなのです。これがクールスカーフですけど、水に濡らすと、結構長持ちしましてね、首にこう巻いてクールスカーフをみせる。

森村…どんなに暑くてもスカッとしてますね(笑)。クールスカーフですねほんとに。

市長…私は市政を運営する中で、まず市民から信頼をされる行政、市民が誇りをもてるまちづくり、そして市民の笑顔があふれるまちづくりを大きな3つの目標にして、市民との対話集会をするとか、行政に対するアドバイスをいただく、いわゆる市民協働という立場で仕事をしているのですが、熊谷市の将来について期待していることなどがあれば、お聞かせください。

森村…地方都市は、東京文化に吸収されやすいと思うんですが。熊谷の位置関係は、東京文化に一番接近している最前線のような気がします。文化的な発達という意味では、

市長…熊谷市は二度の合併を経て人口20万の都市となりました。先生が住んでいた時は市街地の様子なども非常に様変わりしたのかなと思います。面積も、先生が住んでいたときの熊谷市よりも倍くらいになりましたし、山林の区域も緑も非常に多くなりました。新しい熊谷市に対する思いについてお聞かせください。

森村…私が熊谷市民の現役のころは、たしか人口5万人くらいだったでしょうか。都市化はしてなかったですね。非常にローカルカラーの濃い街でした。合併して人口が増え、わが郷里の地が大きくなっていくのは、とても嬉しいことです。と同時にですね、例えば不在市民の僕らが知っている地名とかが消えることもあるんです。でも、それぞれの地域が持っている文化はそのまま大切にしていってほしいですね。地名などにも歴史が刻まれています。こうした文化は大事にしてもらいたいですね。

市長…先生がおっしゃっているように地域文化は残しながら合併によるメリットを活かしたまちづくりをこれから行つてまいりたいと思います。

市長…昨年は6月の最高気温で史上最高の39.8度を記録し、平成19年の40.9度という日本国内最高気温に次ぐ記録ですっかり暑いということ、暑さ対策に一生懸命取り組むようにしています。

市長…熊谷の暑さ対策について

市長…それは熊谷は風景が非常にいいんです。今は桜堤になつていきますけれど、新堤といたつたかな、あそこに行つて、秩父連山から上信越、谷川岳あの景色を見るのがすごく好きだったな。

妙義とかね、赤城とかね、男体山も見えますね。風光と自然に恵まれていて、文化がどんどん東京から流入してくる。いいところばかりが熊谷にあるんですよ。熊谷市民は、恵まれていますよ。

市長…久下橋という橋が新しく架かったんですが、そこからは天気の良い日には富士山が綺麗に見えるんですよ。

森村…そうですね。富士は見えなかったです。昔はあまり見えなかったですね。最近では新しい橋ができてましてちょうど、橋の左側に綺麗に富士山が見えるんですよ。風景の幅が、合併したことによって広がりましたね。利根川も熊谷市の中に入りましたから。

森村…利根川は熊谷市なんだ。僕らの意識では利根川という



と群馬県なんです。これすごいですね。利根川を我がまの川にしちゃう。荒川が妬くかも。

市長…先生がおっしゃったように、東京の文化のいいところをどんどん取り入れて、あまり侵食されないように、そういう意味で、地方の中核都市として生きていきたいという考え方を今持っています。



すね。彼女と一緒に夜桜見物に行つた帰り、別れ道になったときに、彼のほうが満開の桜を撮つて、「見送りは桜月夜に託しけり」という俳句をつけて彼女にメールしたら彼女はきつと感動すると思うんですよ。彼女にバイバイといつて別れるよりは彼女が家に着いた頃を見計らつて、こんな俳句を送る。自分の撮つた写真をつけてですよ。そうしたら彼女はどのような返句をくれるか。

女性の立場から、「唇を交わさぬままの夕月夜」なんてど

市長…熊谷市は二度の合併を経て人口20万の都市となりました。先生が住んでいた時は市街地の様子なども非常に様変わりしたのかなと思います。面積も、先生が住んでいたときの熊谷市よりも倍くらいになりましたし、山林の区域も緑も非常に多くなりました。新しい熊谷市に対する思いについてお聞かせください。

森村…私が熊谷市民の現役のころは、たしか人口5万人くらいだったでしょうか。都市化はしてなかったですね。非常にローカルカラーの濃い街でした。合併して人口が増え、わが郷里の地が大きくなっていくのは、とても嬉しいことです。と同時にですね、例えば不在市民の僕らが知っている地名とかが消えることもあるんです。でも、それぞれの地域が持っている文化はそのまま大切にしていってほしいですね。地名などにも歴史が刻まれています。こうした文化は大事にしてもらいたいですね。

市長…先生がおっしゃっているように地域文化は残しながら合併によるメリットを活かしたまちづくりをこれから行つてまいりたいと思います。

市長…熊谷の暑さ対策について

市長…昨年は6月の最高気温で史上最高の39.8度を記録し、平成19年の40.9度という日本国内最高気温に次ぐ記録ですっかり暑いということ、暑さ対策に一生懸命取り組むようにしています。

市長…熊谷の暑さ対策について

市長…それは熊谷は風景が非常にいいんです。今は桜堤になつていきますけれど、新堤といたつたかな、あそこに行つて、秩父連山から上信越、谷川岳あの景色を見るのがすごく好きだったな。

妙義とかね、赤城とかね、男体山も見えますね。風光と自然に恵まれていて、文化がどんどん東京から流入してくる。いいところばかりが熊谷にあるんですよ。熊谷市民は、恵まれていますよ。

市長…久下橋という橋が新しく架かったんですが、そこからは天気の良い日には富士山が綺麗に見えるんですよ。

森村…そうですね。富士は見えなかったです。昔はあまり見えなかったですね。最近では新しい橋ができてましてちょうど、橋の左側に綺麗に富士山が見えるんですよ。風景の幅が、合併したことによって広がりましたね。利根川も熊谷市の中に入りましたから。

森村…利根川は熊谷市なんだ。僕らの意識では利根川という



4年間で119億円の効果

全体で45項目の取組のうち、38項目が実施されたと、1年間で約12億円（一般会計の約2%）、前期実施計画の取組を加えると、4年間で約119億円（累計）の効果をあげたんじゃない。

低コスト高満足市政への転換を目指して

行政改革とは、厳しい財政状況や社会の変化に対応して、組織の簡素化、事務の効率化、職員数や給与の適正化などの形で行われる改革のことじゃない。

くま博士が教える「平成22年度の行政改革の取組状況」

「熊谷市行政改革大綱」に基づき前期実施計画（平成19年度～21年度）および後期実施計画（平成22年度～24年度）のうち平成22年度の取組状況がまとまりましたので、くま博士が説明します。

主な取組内容	効果額
普通財産（土地）の積極的な売却による収入	3億1,214万円
公共工事コストの縮減	2億2,400万円
給与制度の見直し	1億6,940万円
職員の減員	1億6,800万円
公的資金補償金免除・繰上償還の実施	1億6,147万円

平成22年度の主な取組内容と効果額

これらの効果は、新たなまちづくりや子育て支援施策、暑さ対策などの環境施策や中小企業支援の経費に活かされておるんじゃない。

また、5社の企業誘致を行い、地域経済の活性化を図ったり、附属機関



熊谷市行政改革推進委員会の木島一也会長（中央）および石井富美子副会長（左）から、市の取組状況の報告に対する意見書を受け取る富岡市長

等々の会議の公開率を高め、市民との情報の共有化を図ったりしたんじゃない。

さらに、将来の負担を減らすために市債の繰上償還や借換を行い、利子の削減を行ったんじゃない。

詳しくは、市ホームページのほか、市役所1階の情報公開コーナー、各行政センター総務税務課で実施状況報告書が閲覧できます。

◆行政改革推進室 ☎内線216



市立籠原体育館がオープンします

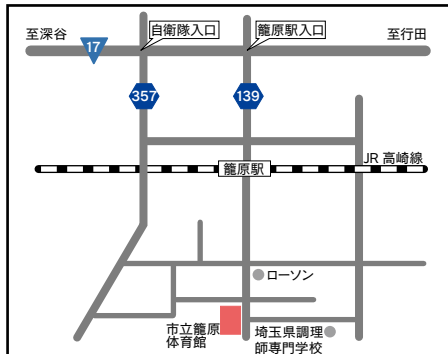
4月1日から籠原体育館の利用を開始します。
スポーツ活動の新たな拠点として、ぜひご利用ください。

所在地 籠原南三丁目15番地4
利用時間 8時30分～21時30分
休館日 年末年始
使用料 8時30分～12時 3,500円
13時～17時 4,200円
17時30分～21時30分 6,300円

※体育以外を目的とする利用や入場料を徴収する場合は料金が異なります。

申込み 利用日の3か月前から下記で受付けます。
（1月4日受付開始）

◆スポーツ振興課（市役所6階） ☎内線391



特集 新春対談

そしてミステリーですね。熊谷市が一番登場するのは「凶水系」、荒川が舞台になっている。それから「星の旗」という作品で、確か久下が出てきます。最近では「笹の墓標」という作品に熊谷がちょっと出てきます。「鍵のかかる棺」という作品は荒川大橋のたもと、安藤野雁の歌碑のある土手からスタートするんです。でも私の作品の中で熊谷が主たる舞台になっている作品は「凶水系」以下二、三作

な。そこで、熊谷を舞台にした時代小説を書きたいなあと思って、私の中で「熊谷次郎直実」があります。熊谷次郎直実を主人公にした作品を書きたいなあ。

今後の活動について

市長…先生の今後の執筆活動について考えていることがありましたら、お話しただけま



市民へのメッセージ

市長…先生ぜひお願いします。待っていますので。それでは最後になりますが、市民のみなさんに先生からメッセージをお願いいたします。

です。だから熊谷市を拠点にした長編小説、時代小説を書きたいなあ。

り、住みやすいと思います。熊谷市に住んでいる人は意外に熊谷市の良さがわかっていない。熊谷市の良さというものを現役の市民はもっと知るべきです。市民として、誇りとか、市民であることの喜びとか、そういうものをもっと味わってほしい。

熊谷は非常にまだ未知数に富んでいるまちなんです。青春というのは未知数が多いことですから。未知数に富んでいるということは青春都市なんです。市庁、市の年齢と体力が若いんですよ。これか

らも熊谷市の良さ、将来性というものを意識して、もっともつと熊谷を大切に、郷里の発展をみんなであつて熊谷で育成してもらいたい。市長…ありがとうございます。本日は新春にふさわしい有意義なお話をたくさん聞かせていただきありがとうございます。今後とも市政へのご意見、ご提言などをお聞かせいただきますとともに、引き続き熊谷のPRにもご協力をお願いいたします。本日は貴重な時間をありがとうございました。

森村誠一さんの著書（サイン入り）サイン色紙プレゼント

おもと 360-8601 熊谷市役所 広報広聴課 行き

うら 森村さんのプレゼント希望 住所氏名 年齢 電話番号

森村誠一さんから、サイン入りの著書「写真俳句のすすめ（朝日文庫）」「芭蕉道への旅（角川学芸出版）」とサイン色紙をいただきます。抽選で本を3人、色紙を8人にプレゼントします。

応募方法 ハガキまたはEメールに、左記の事項を記入し、1月24日（火）までに応募ください。（応募は1人1通まで）なお、プレゼントは選べません。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

Eメールアドレス kohokocho@city.kumagaya.lg.jp



市・県民税の申告は、3月15日(木)までにお願ひします

申告が必要な方

平成23年中に所得があり、平成 24 年 1 月 1 日現在、市内に住所のある方

※なお、次に該当する方は、市・県民税の申告を行う必要はありません。

- ①給与収入のみで、勤務先から年末調整済みの給与支払報告書が市へ提出されている方
- ② 65 歳未満の公的年金収入のみの方で、年金収入が 101 万 5 千円以下の方(65 歳以上の方は、151 万 5 千円以下)
- ③所得税の確定申告をされる方(所得税の確定申告書の提出は、熊谷税務署へお願いします。)
- ④平成 23 年中に収入がなかった方(ただし、所得証明書を必要とする方、国民健康保険や介護保険に加入している方等は申告が必要になる場合があります。)

受付会場

下記の日程表のとおり

※午前中は大変混雑します。ご都合のつく方は、午後にご来場くださいますようご協力お願いします。

※申告期間中は、市役所、大里・江南行政センターでの受付は行いません。

※大里・妻沼・江南会場においては、混雑緩和のため受付区域を指定していますので、指定された期日にお越しください。なお、妻沼会場のうち、コミュニティセンター等にも受付会場を開設する 6 日間については、妻沼行政センター内の受付窓口が半分になります。

受付時間 9 時～ 12 時 /13 時～ 16 時

※さくらめいととは 9 時 15 分からの受付、小島コミュニティセンターは 9 時 30 分から 12 時までの受付となります。

◆市民税課 ☎ 内線 247

平成24年度 市・県民税 申告受付日程表

期日	熊谷会場	期日	大里会場		妻沼会場		江南会場	
	受付会場		大里コミュニティセンター (1 階 小集会室)	受付会場	妻沼行政センター (2 階 201 会議室)	受付会場	江南勤労福祉センター (2 階 講習室)	
			指定区域		指定区域		指定区域	
2/16(木)	商工会館 (2 階大ホール)	2/16(木)	上恩田・中恩田・替津田		妻沼東		上新田・樋春・柴	
17(金)		下恩田・手島		永井太田・飯塚・八木田				
19(日)		指定区域なし		指定区域なし		指定区域なし		
20(月)		小泉・屈戸		弥藤吾		板井・樋春		
21(火)		津田新田・天水		妻沼・妻沼中央				
22(水)	さくらめいと(会議室1)	22(水)	休館日のため受付は行いません		日向・大野・俵瀬 〈会場〉老人憩の家めめま荘		板井・三本	
23(木)	大麻生公民館	23(木)	中曽根・吉所敷・沼黒		葛和田・弁財 〈会場〉老人憩の家めめま荘		小江川・三本	
24(金)	農業活性化センター アグリメイト	24(金)	高本・津田・向谷		指定区域なし		指定区域なし	
26(日)	さくらめいと(会議室1)	26(日)	指定区域なし		男沼・妻沼台・出来島・間々田 〈会場〉男沼コミュニティセンター		小江川・須賀広	
27(月)	中条農村センター	27(月)	相上・玉作		八ツ口・西城・田島・西野		小江川・須賀広・野原	
28(火)	別府公民館	28(火)	箕輪・青山		江波・上須戸 〈会場〉長井コミュニティセンター		御正新田・野原	
29(水)	佐谷田公民館 星宮公民館	29(水)	休館日のため受付は行いません		道ヶ谷戸・上江袋・原井・市ノ坪 〈会場〉太田コミュニティセンター		御正新田・成沢	
3/ 1(木)	久下公民館 肥塚公民館	3/ 1(木)	箕輪・青山		上根・善ヶ島		押切・成沢	
2(金)	吉岡公民館	2(金)	小八林		秦区域		押切・江南中央	
5(月)	大幡公民館	5(月)	船木台 1・2 丁目		男沼区域		押切・千代・塩	
6(火)	玉井公民館	6(火)	船木台 3・4・5 丁目		妻沼小島 〈会場〉小島コミュニティセンター		指定区域なし	
7(水)	成田公民館	7(水)	休館日のため受付は行いません		長井区域			
8(木)	三尻公民館	8(木)	指定区域なし		太田区域			
9(金)	商工会館 (2 階大ホール)	9(金)	指定区域なし		指定区域なし			
12(月)		指定区域なし		指定区域なし				
13(火)		休館日のため受付は行いません		指定区域なし				
14(水)		指定区域なし		指定区域なし				
15(木)		指定区域なし		指定区域なし				

◆熊谷税務署

048-521-2905

東日本大震災により被害を受けた方の方の申告相談会を受けられた方は、平成 22 年分または平成 23 年分のいづれかを選択して、所得税の軽減等を受けられる場合があります。

とき 2 月 1 日(水)・2 日(木) 9 時～11 時、13 時 30 分～15 時

※混雑状況により、受付時間を変更する場合があります。

ところ 妻沼中央公民館 2 階大会議室

※手続方法や必要書類などご不明な点は、左記まで。

平成 23 年分の所得税の確定申告とき 2 月 16 日(木)～3 月 15 日(木) 2 月 19 日・26 日の日曜日

も受付を行います。

公的年金等に係る雑所得を有する方の所得税の確定申告不要制度の創設

平成 23 年分の確定申告から、公的年金等の収入金額の合計額が 400 万円以下であり、かつ、それ以外の所得金額が 20 万円以下である場合には、所得税の確定申告書の提出は不要となりました。

※右記に該当する方でも、医療費控除などの所得税の還付を受ける場合は提出が必要です。詳しくは左記まで。

平成23年度 予算執行状況

財政事情の公表

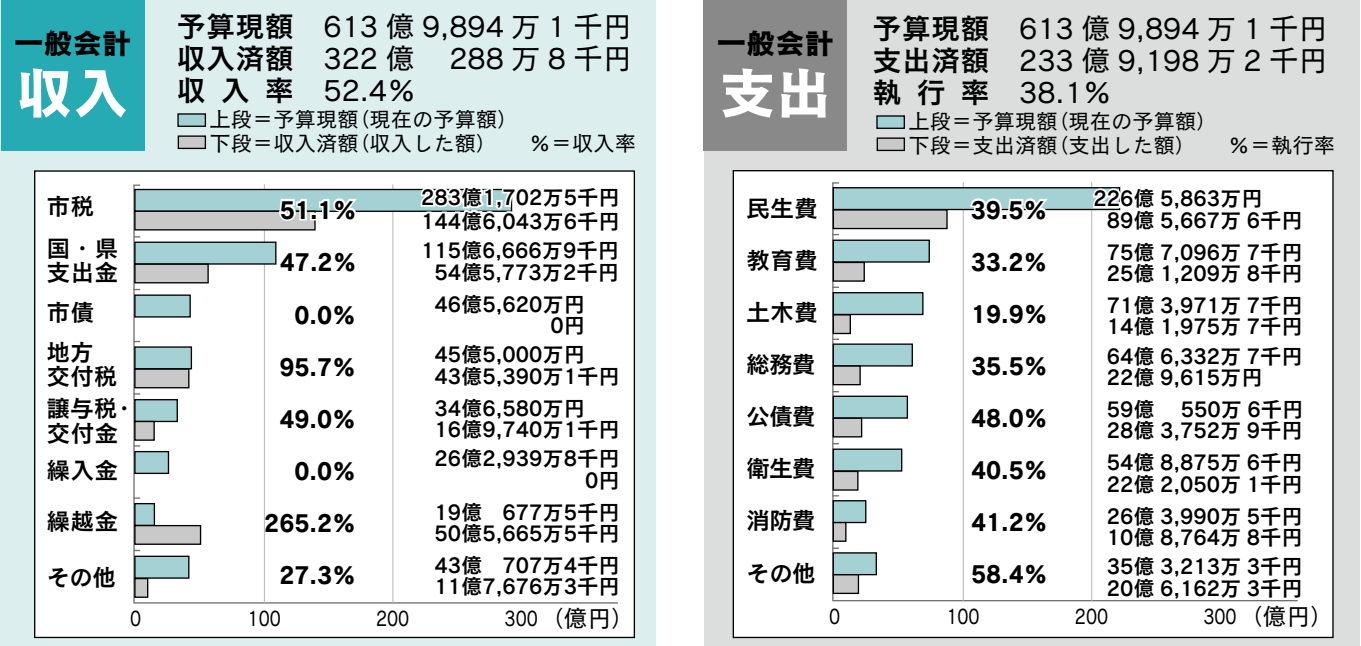
平成 23 年度上半期の、予算の執行状況のあらましをお知らせします。

皆さんに納めていただいた税金などがどのくらい入り、どう使ったのか、市の財政運営を年 2 回、お知らせしています。

今回は、平成 23 年 4 月 1 日から 9 月 30 日までの執行状況ですが、当初の計画に沿って概ね順調に事業を進めてきております。

今後とも、予算の執行にあたりましては、無駄を省き、適正な執行を心がけてまいります。

より詳しい情報は、市ホームページでご覧になれます。 ◆財政課 ☎ 内線 240



特別会計 歳入歳出予算の執行状況

単位：千円、%

会計区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	20,156,990	7,097,972	35.2	9,458,512	46.9
下水道	4,231,294	510,899	12.1	1,506,164	35.6
公共用地先取得	54,139	0	0.0	27,164	50.2
駐車場事業	274,462	7,767	2.8	80,145	29.2
熊谷都市計画事業 土地区画整理事業	1,553,345	88,479	5.7	259,480	16.7
農業集落排水事業	600,540	62,905	10.5	171,061	28.5
後期高齢者医療	1,678,044	590,038	35.2	574,357	34.2
合 計	28,548,814	8,358,060	29.3	12,076,883	42.3

大里広域市町村圏組合介護保険特別会計決算

平成 22 年度大里広域市町村圏組合介護保険特別会計の決算が確定しましたので、主な内容についてお知らせします。

歳入総額は 207 億 1,534 万 2 千円で、対前年度比 5.5%増、歳出総額は 205 億 7,449 万 4 千円で、対前年度比 5.4%増となりました。歳入歳出差引残額は 1 億 4,084 万 8 千円です。

◆大里広域市町村圏組合 ☎ 048-501-1330

■歳入

歳入項目	歳入額
第 1 号被保険者保険料	39 億 3,190 万 8 千円
市町負担金	29 億 6,681 万 8 千円
国庫支出金	43 億 8,490 万円
支払基金交付金	60 億 275 万 9 千円
県支出金	29 億 3,816 万 9 千円
その他	4 億 9,078 万 8 千円
合計	207 億 1,534 万 2 千円

■歳出

歳出項目	歳出額
総務費	3 億 9,878 万 2 千円
居宅介護サービス給付費	101 億 7,265 万 2 千円
施設介護サービス給付費	70 億 3,122 万 9 千円
地域密着型介護サービス給付費	15 億 1,090 万 8 千円
高額介護サービス費	3 億 3,206 万 6 千円
高額医療合算介護サービス費	4,040 万 7 千円
特定入所者介護サービス費	7 億 2,143 万 6 千円
審査支払手数料	2,642 万 4 千円
地域支援事業費	2 億 2,459 万 8 千円
その他	1 億 1,599 万 2 千円
合計	205 億 7,449 万 4 千円